

あぶたん つうしん

157号

阿武隈大堰では現在、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨の台風18号の影響により被害を受けた3, 4, 9号ゲート下流護床復旧工事や阿武隈大堰2号ゲートの扉体水密ゴム交換等修繕、塗替塗装工事が行われています。また、12月9日には1号と10号ゲートに引っかかっていた流木を撤去しました。



① 阿武隈大堰ゲート設備修繕工事

阿武隈大堰では、毎年1門ずつ堰の正常な機能を維持するために修繕工事を行っています。
現在行われている2号ゲート(フラップゲート)の修繕工事では、塗料で川を汚さないように、またゴミなどを川に落とさないよう最善の注意を払い作業を行っています。来年の3月までに修繕工事を完了する予定です。



株式会社 IHIインフラ建設
後藤現場代理人



※ブラスト作業とは・・・ケレン作業のこと。(表面の汚れ、さびない状態)



シートで覆われていて中はこんな感じ



ブラスト作業前



ブラスト作業後

② 阿武隈川下流岩沼地区維持工事

維持工事では、堤防機能保全や利便性の向上のため河川内でいろいろな作業を行っています。主に堤防の除草(年2回)、豪雨や地震に対する自然災害や油流出事故などに昼夜を問わず対応しています。
今回は阿武隈大堰の1号ゲートと10号ゲートに流木が引っかかったためクレーン車を使用して撤去しました。



春山建設 株式会社
今野現場代理人



1号ゲート
流木4mくらい1トン



10号ゲート
流木15mくらい3.1トン



流木撤去作業中



流木引き上げ中



チェーンソーを使って流木を解体

③ 阿武隈川下流南長谷地区災害復旧工事

昨年の台風18号の影響で被害を受けた阿武隈大堰護床及び左岸南長谷地区の護岸の災害復旧工事です。現在、大堰3、4号ゲートの施工箇所へ行くための仮棧橋、仮締切工（鋼矢板）を設置し、水抜きをしています。これから、沈下した場所に捨石を敷き詰めてブロックを設置していくところです。



株式会社 王祇建設
斎藤現場代理人



南長谷地区の現場 護岸工事



水抜き中



▲ 護床工事で根固めブロック
約1500個が必要



仮締切



水抜きした状態

阿武隈大堰の現場
3、4号ゲート護床工工事



仮棧橋

④ 阿武隈川下流阿武隈大堰9号ゲート下流護床工復旧工事

昨年の台風18号の影響で被害を受けた阿武隈大堰9号ゲート護床復旧工事です。この工事で850個のブロックが必要になるため製作中です。河川敷は風が強く寒いのでブルーシートが飛ばされないようにロープで固定し、品質の良いブロックとするために練炭を使用しています。



株式会社 本田組
五十嵐現場代理人



ブロック製作中



ブロックを型枠から外して
クレーン車で移動



▲ 土のう製作中 ▲



ブルーシートの中に練炭を設置

【お知らせ】

阿武隈大堰下流左岸側で南長谷地区災害復旧工事が行われています。また、右岸側でも9号ゲート下流護床工復旧工事を含め5件の工事で工事車両が通行します。周辺の皆様のご迷惑にならないよう配慮して進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

